

## 1. RTC の初期化



## 2. IRQ0 割り込み処理



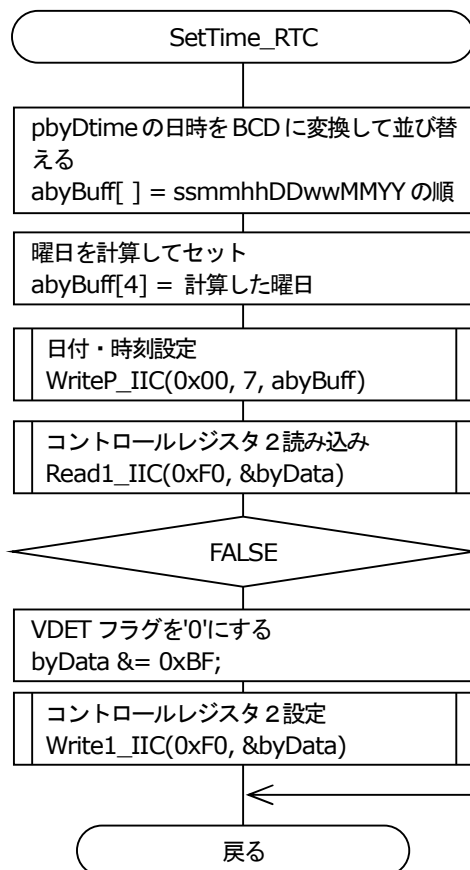
注：レベル検知の場合、IRQ0 のマスク操作が必要です。

## 3. IRQ1 割り込み処理



注：レベル検知の場合、IRQ1 のマスク操作が必要です。

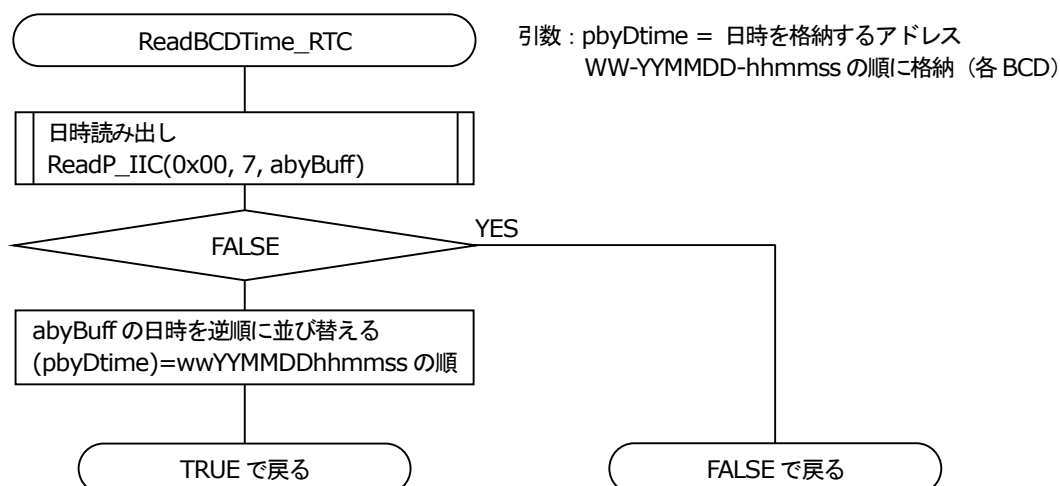
## 4. RTC にバイナリで日時を設定する



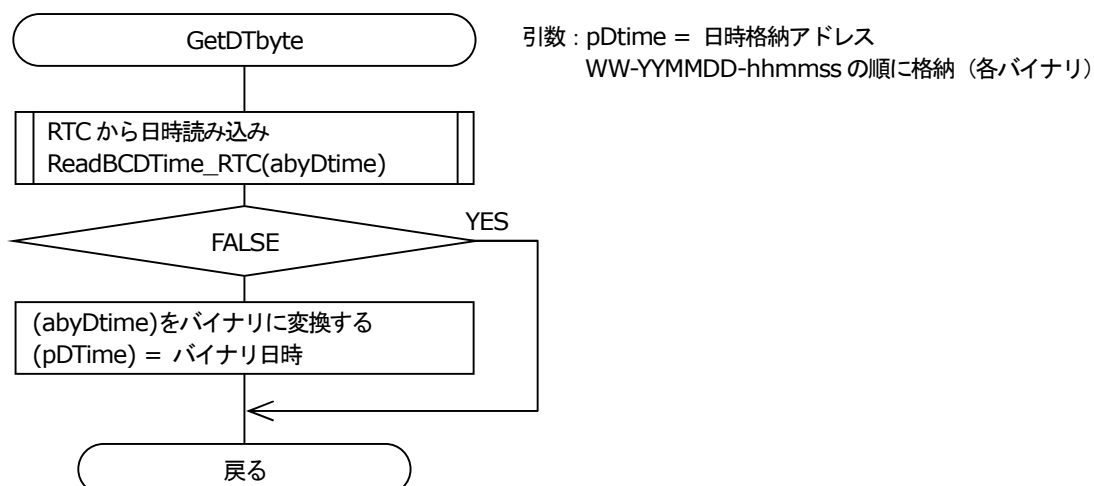
引数：pbyDtime = YYMMDD-hhmmss の順  
(各バイナリ)

byStop = 0x20  
byStart = 0x00

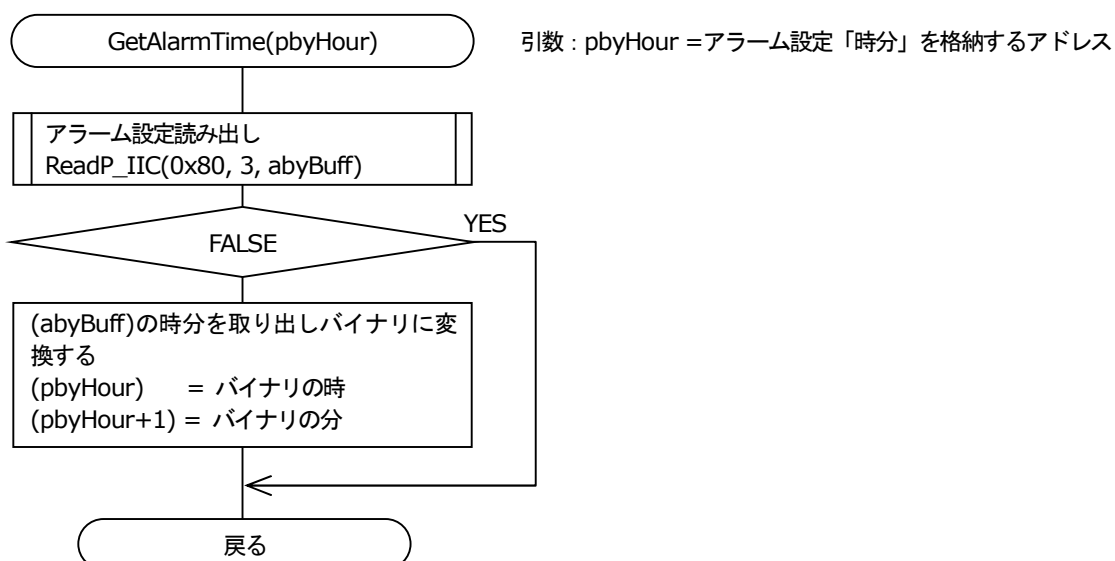
## 5. RTC から日時を読み出す



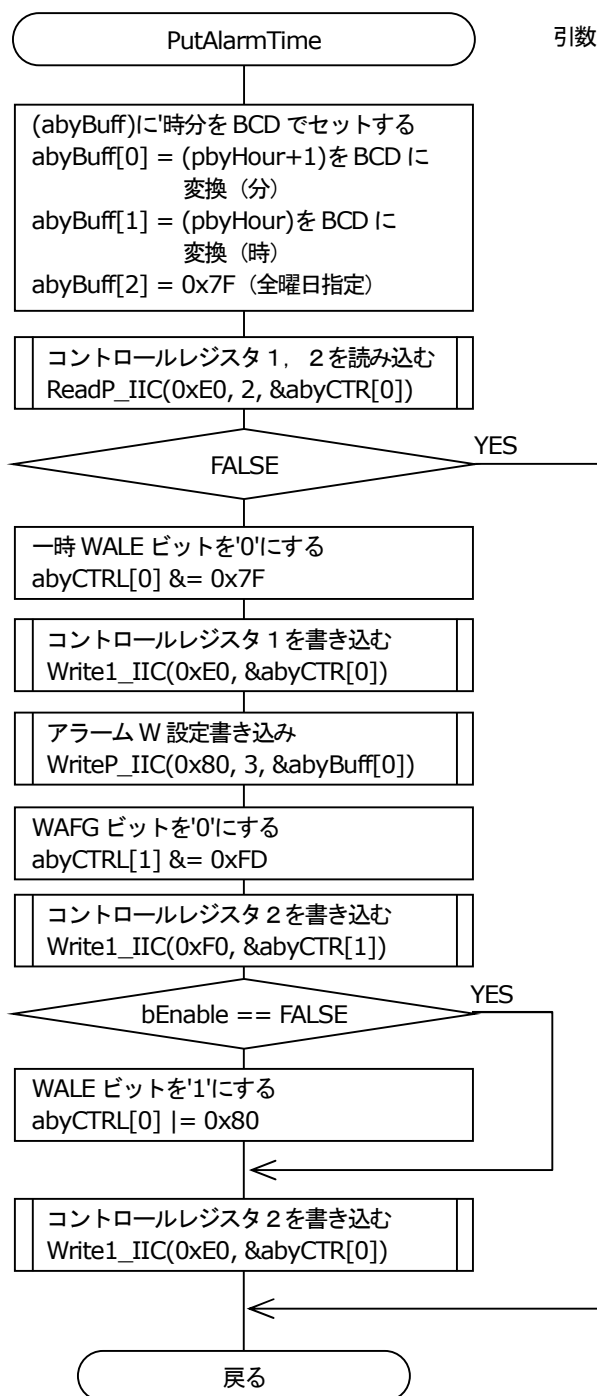
## 6. 現在日時を得る



## 7. アラーム W 設定「時分」を読み出す

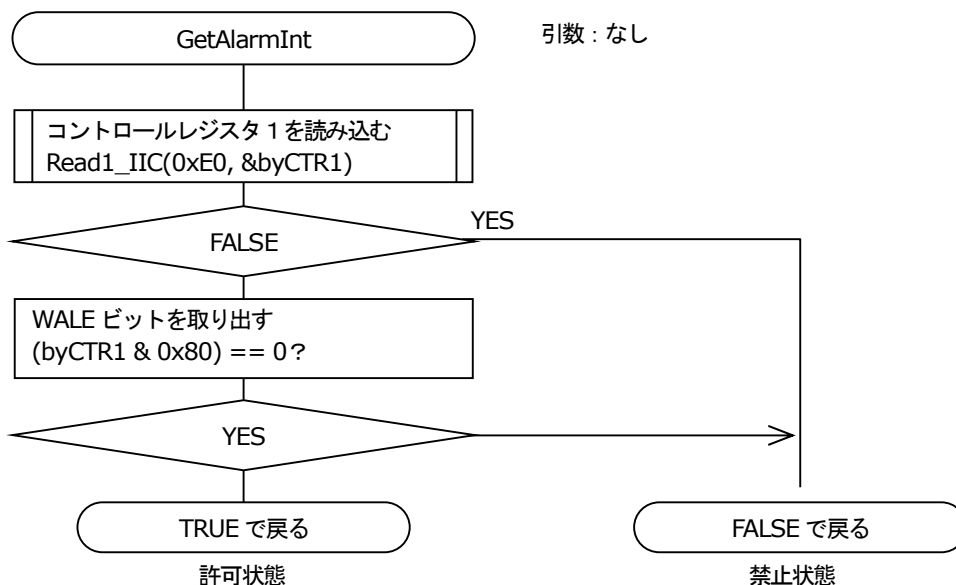


## 8. アラーム W 設定「時分」を設定する

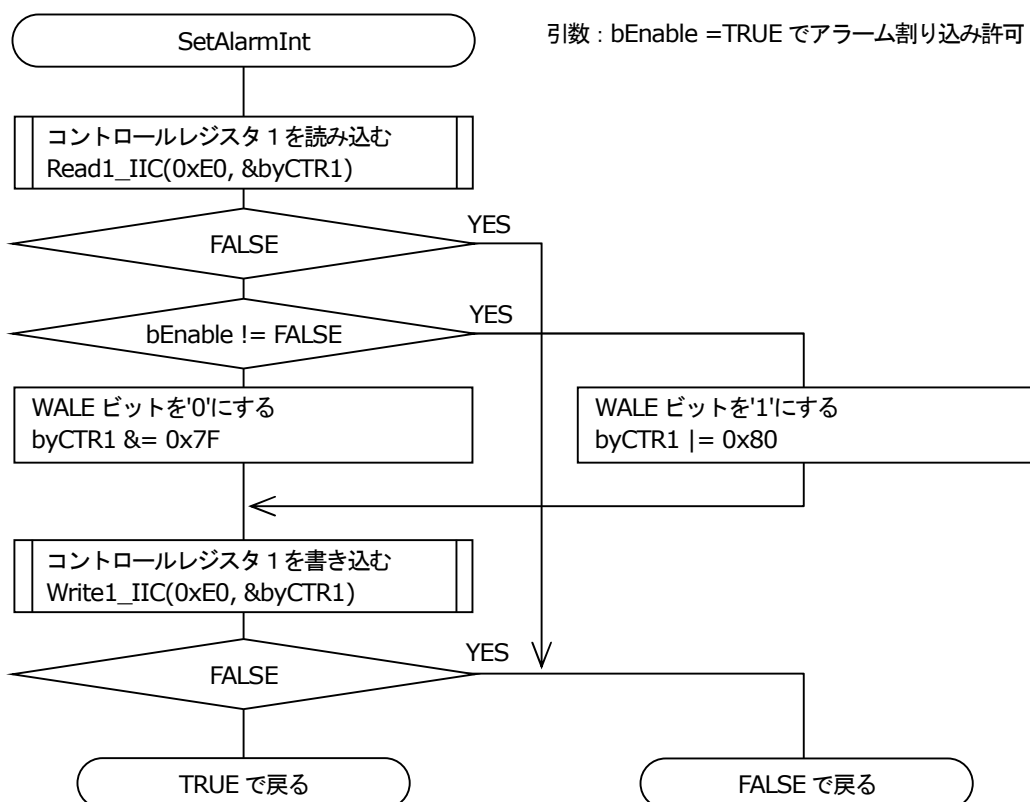


引数 : bEnable = TRUE でアラーム割り込みを許可  
 pbyHour = アラーム設定「時分」のアドレス  
 ※「時分」はバイナリ.

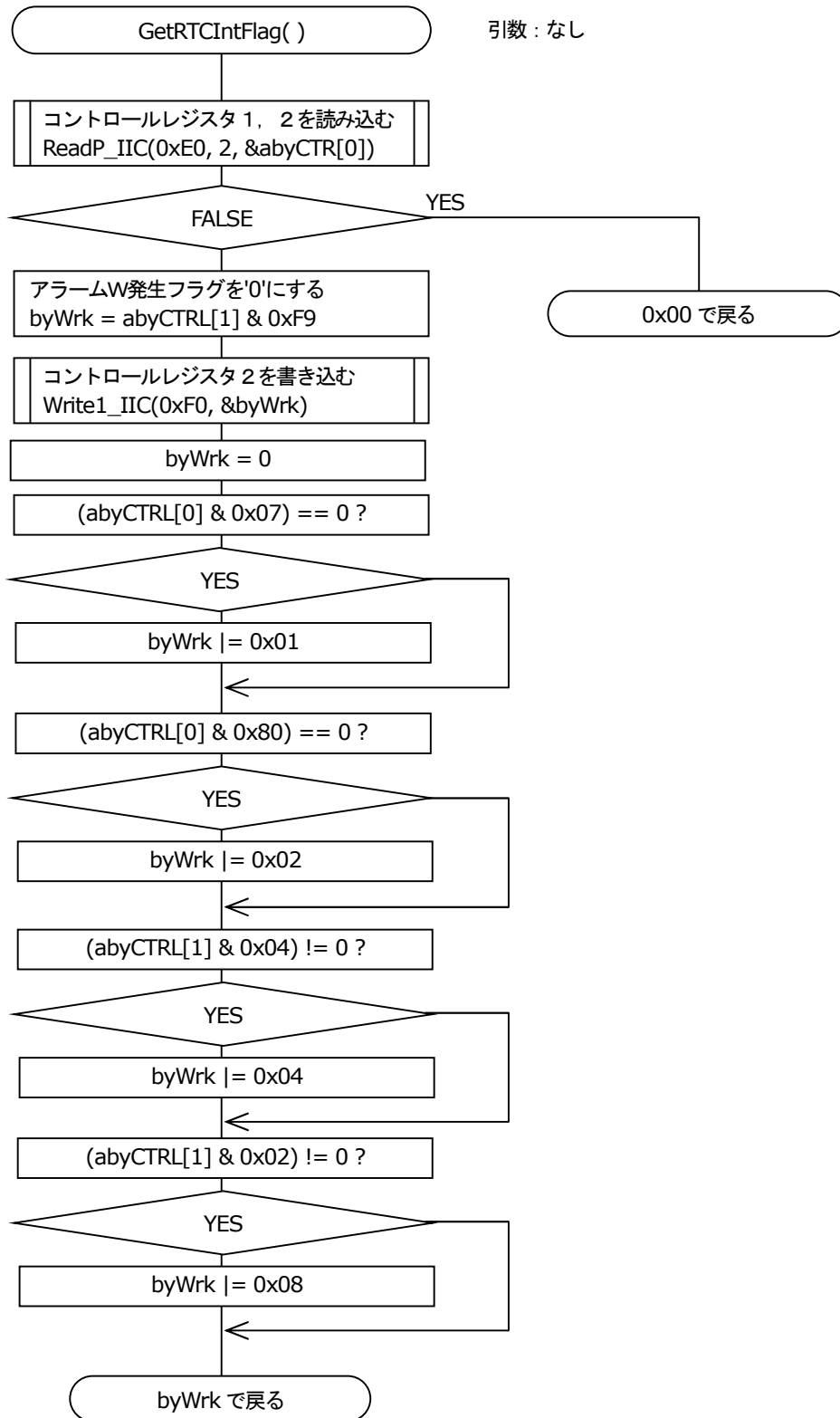
## 9. アラーム W 割り込みの許可・禁止状態を読み込む



## 10. アラーム W 割り込みの許可・禁止を書き込み



## 1 1. 割り込み発生フラグを読み込む



戻値：b0= CT20（周期割り込み有効）  
 b1= WALE（アラーム割り込み有効）  
 b2= CTFG（周期割り込みあり）  
 b3= WAFG（アラーム割り込みあり）

## 1 2. 1 秒フラグ・アラーム W フラグを読み込む



引数 : なし

注 : IRQ0,IRQ1 がレベル検知の場合、  
マスク解除操作が必要です。